

令和 2年度

事務事業評価表 ( 令和元年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 2 年 4 月 21 日

事務事業名	桜川地区防犯連絡員協議会運営事業					事業区分			担当	
政策体系上の位置付け						新規/継続 単独/補助	継続 単独	事務事業No.	030202000693	
政策体系	総合計画の施策名					0302 防犯・消費生活対策の推進		所属課	030301 生活環境課	
	政策名					03 安全安心な暮らしのまちづくり		課長名		
	施策名					02 防犯・消費生活対策の推進		グループ	市民活動・交通安全G	
	手段名					02 ②防犯体制と施設の充実		担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	02	01	14	01	00	単年度繰返し (平成18年度～)			
法令根拠						防犯対策事業				
						→ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

〔Do〕 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像) ・桜川地区の市民が安全で安心して過ごせるまちづくりのために、防犯連絡員相互の連携強化を図り、毎月15日防犯パトロールや防犯視察研修を実施して、犯罪のない明るい地域づくりに寄与する。防犯連絡員は地区ごとに支部を設け、警察署・交番・駐在所ごとに分会を設けている。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・防犯連絡員を桜川地区防犯協会長と桜川警察署長の連名で委嘱する。 ・防犯連絡員協議会の運営を行う。 ・各支部の連携を図り、円滑に連携できるようにする。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
防犯連絡員協議会運営 各支部の連携強化	キャンペーン等の実施回数	回	4.00	3.00	4.00	4.00	4.00
	視察研修実施回数	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	防犯パトロール実施回数	回	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)			30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
桜川地区防犯連絡員	防犯連絡員の人数	人	352.00	356.00	356.00	356.00	356.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)			30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
防犯連絡員が積極的に活動することで市民の防犯意識の向上	犯罪への不安を感じている割合	%	51.70	55.80	53.00	50.00	47.00
	犯罪トラブルに合わないための取り組み	%	57.20	60.00	63.00	66.00	68.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量		事業費	財源内訳	千円	30年度	01年度	02年度	期間限定 総投入量
					(実績)	(実績)	(計画)	
		国庫支出金		千円	0	0	0	0
		県支出金		千円	0	0	0	0
		地方債		千円	0	0	0	0
		使用料・手数料		千円	0	0	0	0
		その他		千円	0	0	0	0
		一般財源		千円	400	400	400	0
		事業費計 (A)		千円	400	400	400	0
		正規職員従事人数		人	4.00人	4.00人	4.00人	

01年度事業費 実績 (千円)					02年度事業費 予算 (千円)				
事業費の内訳	19 負担金補助及び交付金	400			19 負担金補助及び交付金	400			
				合計	400			合計	400

事務事業名	桜川地区防犯連絡員協議会運営事業	事務事業No.	30202000693	所属課	生活環境課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成19年に桜川地区の防犯連絡員の委嘱により、連絡員の連携を図るために設立された。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 防犯連絡員より、活動手当てや安全のための保険等について意見が述べられている。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 防犯連絡員の個々の活動及び防犯パトロールを実施することで、市民の防犯意識の高揚と安全安心につながることから、政策に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 桜川地区防犯協会及び桜川警察署長連名で委嘱され、市内全域に防犯連絡員を配置して地域のために活動していることから妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 毎月15日のパトロールや運動期間中のキャンペーンを実施しているが、地域によって温度差があり強化向上を図る必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 廃止すると地域の防犯連携体制がなくなり、地域安全が損なわれ影響を及ぼす。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 市及び各支部で活動している
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 補助金も徐々に削減されており、防犯活動していく中で装備品や啓発活動は欠かせないものであることから削減の余地はない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内全域に防犯連絡員が委嘱され、地域安全に貢献しており市民全体が受益を受けていることから公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	市民アンケートの結果で、不安を感じている人の割合が前年度より減少していることから、防犯連絡員の活動が活発になり市民も安心できていると考えられる。しかし、まだ約半数の人が不安を感じているので、活動体制を整えることが必要である。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 毎月15日のパトロールや運動期間中のキャンペーンを実施しているが、地域によって温度差があり強化向上を図る必要があるので参加者を多く集められるように通知等を工夫する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>